

## ベナン月例報告（2013年7月）

### 1. 内政

- ・ 6月29日、大統領の出身地であるボルグ（Borgou）県の与党勢力が大統領の憲法改正案を支持する旨公表した。また同日、コトヌでゼミジャン（バイクタクシー）運転手労働組合が憲法改正を支持する旨発表した。
- ・ 1日、タロン氏（M.Patirce TALON）の大統領毒殺未遂事件に関し、一審に引き続き、コトヌ高等裁判所も予審免訴の決定を下した。
- ・ 12日、ヤイ大統領は、野党系政党 PRD（Parti du Renouveau Démocratique）のウンベジ（Me.Adrien HOUNBEDJI）代表と会談した。同会談では、5月末の司法分野の人事発令に抗議し、ベナン司法官全国同盟（UNAMAB : Union Nationale des Magistrats du Bénin）がストライキを継続している件に関し、意見交換が行われた。
- ・ 16日、恒久電子化選挙人名簿（LEPI : Liste électorale permanente informatisée）修正に関し、LEPI 更新指導監督評議会（COS : Conseil d' Orientation et de Supervision）が国民議会で状況報告を行った。国民議会議員からは、135億 FCFAにも上ると見られる LEPI 修正費用について不安の声が上がった。
- ・ 17日及び24日、タロン氏の弁護士を務めるジョグベヌ（Me.Joseph DJOGBÉNOU）氏等がコトヌにおいて、改憲反対デモ「Mercredi Rouge」を実施した。参加人数は数千人に上ると見られている。
- ・ 18日、5月末の司法分野の人事発令に関し、必要措置を講じるとのマドウグ（M.Reckya MADOUGOU）国璽尚書・法務・法制・人権大臣の発表を受け、UNAMAB は、3ヶ月のストライキ休止を発表した。

### 2. 外政

- ・ 1日、タベット（Mme.Elisabeth TABETE）南アフリカ共和国商業副大臣が、29人の経済実業家と共にベナンを訪問し、ベド（Mme.Akuavi Marie-Elise Christina GBEDO）産業・商業・中小企業大臣らと会談した。同会談では、南南経済協力及びベナンへの投資機会等について意見交換が行われた。
- ・ 4日、カナダケベック州のシャニオン（M.Jaques CHAGNON）国会議長がベナンを訪問し、ナゴ（M.Mathurin NAGO）国民議会議長と会談した。
- ・ 9日、第5回ベナン・モロッコ開発協力合同委員会が、アバングラ（M.Esuèbe AGBANGLA）外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人省次官補主催でコトヌで開催された（前回は、2006年にラバト（Rabat）で開催）。同委員会では、アボメ・カラヴィ（Abomey-Calavi）大学ハッサンII学生寮の建設及び整備、パラク（Parakou）大学モハメッドVI学生寮の建設及び整備、医療職業訓練校の建設、及び2010年の洪水被災者に対する財政支援等、近年緊密化している二国間協力関

係が再確認された。

- ・ 15日、ヤイ大統領はアブジャ（Abuja）で開催された、エイズ、マラリア、結核対策に関するAU首脳特別会合に出席した。
- ・ 16日、中央アフリカのジョトディア（M.Michel DJOTODIA）大統領がベナンを訪問しヤイ大統領と会談した。同会談では、中央アフリカの政治及び経済の安定回復について意見交換が行われた。
- ・ 17日、ヤイ大統領はアブジャで開催された第43回ECOWAS首脳会議に出席した。同会議では、マリ及びギニアビサウにおける和平回復について議論が行われた。

### 3. 経済

- ・ 2日、ジュグ（Djougou）で建設中の新市場が約95%完成し、エドゥ（M.Raphael EDOU）地方分権・地方統治・行政・国土整備大臣及びジャラ（M.Michael Bassabi DJARRA）ジュグ市長が、同市場を視察した。同市場の総工費は、5億FCFAに上り、全額政府予算で賄われる。
- ・ 4日、IMFのアチング・エゴ（M.Michael ATINGI-EGO）アフリカ部副部長がベナンを来訪し、ヤイ大統領と会談した。同副部長は、2012年に綿花生産が好調であり生産量が24万トンに達したこと、また、同年に6.7%まで上昇したインフレ率が今年になって3%台に落ち着いていることを挙げ、ベナン経済の好調を祝福した。
- ・ 6日及び9日、ヤイ大統領は、2013年度の綿花生産を増進するため、ボルグ（Borgue）県、アリボリ（Alibori）県、及びコリーヌ（Collines）県を訪問し、昨年の24万トンの生産量を上回る生産を期待する旨述べた。
- ・ 8日、ヤイ大統領はナティティング（Natitingou）のマンゴジュース加工工場の落成式に出席した。同工場では、年間3千トンのマンゴの加工、70人の雇用が予定されている。同工場は、民営化されるまでの間、政府により運営される。オロド（M.Pierre OLODO）農業・畜産・漁業省農業機械化促進計画（PPMA :Programme de Promotion de la Mécanisation）コーディネーターは、同工場は、貯蔵庫の不足、不安定な電力供給、水供給不足等様々な問題に直面しており、さらなる施設整備が必要である旨強調した。

### 4. 開発・協力

- ・ 1日、内務・公安・宗務省の治安維持計画ジャパタ作戦を支援するため、ベナン・ビール醸造公社（SOBEBRA : Société Béninoise de Brasseries）が同省にピックアップトラックを12台供与し、デグラ（M.Benoît DEGRA）内務・公安・宗務大臣、及びブルアード（M.Vincent BROUARD）SOBEBRA 総裁の出席の下、引渡式が実施された。

- ・ 5日、セメント製造公社 CIMBENIN がボパ（Bopa）市で学校建設を行い、引渡式が実施された。
- ・ 10日、タオ（M.Weiguang TAO）駐ベナン中国大使は、サケテ（Saketé）、アジャラ（Adjara）、及びアジョウン（Adjiohoun）で中国が実施しているモロコシの農業技術移転のための実験圃場を視察した。かかる実験圃場では、ベナンのモロコシ生産量平均がヘクタール当たり2トンであるのに対し、4トンの生産が実現している。
- ・ 11日、UNDP の支援で開始した緑化計画「10 millions d' âmes, 10 millions d' arbres」の開始式が開催され、ヤイ大統領及びベド産業・商業・中小企業大臣が出席した。同プロジェクトでは、毎年2百万本の植林、各コミュンでの1ヘクタールの緑地整備、1千ヘクタールの国有林での植林、2百ヘクタールの主要ラギューン護岸整備、50ヘクタールのマングローブの修復などが計画されている。
- ・ 27日、ヤイ大統領は、ベナンを訪問中のドウ・スザ（M.Fernando de SOUSA）アフリカマイクロソフト社代表と会談した。同会談で、ドウ・スザ代表は、ベナンで若者のために、新テクノロジー分野の能力強化研修を行う意向を示した。
- ・ 29日、ヤイ大統領はEU各国大使との政策対話集会に出席した。同集会は、2014年4月に開催が予定されているAU総会の準備会合として開催され、越境犯罪、ギニア湾海賊対策、経済連携協定、及び地方選挙等について意見交換が行われた。

## 5. 社会

- ・ 2日、ヤイ大統領は、6月30日にポルトノヴォ（Porte-Novo）及びアジョウンで発生したバス事故現場を訪れ、被害者に哀悼の意を表した。